



さかなのたまごクイズ (小5 ⇄ 小1)



7月3日(金)の5時間目(の前半)、多目的室から楽しそうな歓声が聞こえてきました。中を覗くと、そこには5年生が司会・進行・出題の3役を務める「さかなのたまごクイズ」の会場が広がっていました。

今回のゲストは1年生です。5年生が事前に一生懸命調べて作ったクイズに対し、1年生は全力で挑んでいました。問題の中には、黒くて角が生えた「バットマンのヘルメット」にそっくりな不思議な卵も登場。すると、ある1年生が一瞬で「エイの卵!」と正解を言い当て、その知識

の深さに5年生や教師からも驚きの声が上がりました。

この活動を通して、1年生はクイズを楽しみながら魚の生態について深く学ぶことができました。一方の5年生にとっても、自分たちの努力の成果を披露する最高の舞台となりました。何より、1年生が心から喜んでくれた姿は、5年生の「やりがい」と大きな自信につながったはずです。お互いの成長が光る、大変素晴らしい時間となりました。(※次号、後半「つぼみクイズ」に続く)



こうえんたんけん (小学部1年生)

6月30日(火)の2・3時間目、小学部1年生の2クラスが合同で「こうえんたんけん」に出かけました。目的地は、本校(JSB)の真南約700mにある「エロニエール公園」です。大人の足であれば10分ほどの道のりですが、1年生にとっては大冒険。道路の横断や公園内の山道の一步一步にドラマがあり、通常の1.5倍以上の時間をかけて一生懸命に歩き回りました。

今回の生活科の学習には、主に2つのねらいがあります。



1つ目は、「公園で夏を見つけること」です。1年生ではこの公園を年間通じて「定点観測」しており、別の季節との違いを自ら見つけ、肌で感じることに大きな意義があります。自然への興味関心を広げ、将来の科学者の「芽」が育つことを期待しています。

2つ目は、「みんなと遊ぶこと」です。「工夫して楽しむ」「進んで(遊びに)誘う」をキーワードに、きまりを守りながら仲良く活動しました。

活動中の姿を見ていると、4月の入学時から確実にたくましく成長した子どもたちの姿が強く印象に残りました。



JSB リサイタル（2日目）

出演者の活躍ぶりを、写真で紹介します。ピアノ演奏が3組、歌唱とお笑いが各1組でした。



図画工作「ぱくぱっくん」（小1）



写真の不思議な生き物たち、一体何に見えますか？

ヘビのようだったり、深海魚のようだったり……怖くておもしろい、個性豊かなこの作品

は、1年生が図工の時間に作った「ぱくぱっくん」です。紙袋に手を入れると、まるで命が吹き込まれたように動き出します！1年生教室前の廊下にずらりと並んで、皆様を待っています。見に来られた際は、ぜひ目を合わせてみてくださいね。



6月30日（火）の7時間に、本番前最後の「ソーラン」練習を行いました。当日のはっぴを身にまとい、両手に鳴子を持って臨んだ最終リハーサルです。いよいよ7月3日（金）が本番です。最高の思い出になるよう、チーム一丸となって全力で頑張ってください！



天皇皇后両陛下との交流行事



6月23日（火）、ブリュッセル市庁舎の中庭で、ベルギーを訪問中の天皇皇后両陛下との交流行事が行われました。両陛下をエスコートされているベルギーの国王夫妻もご一緒され、両陛下からは本校の児童生徒に対し、温かなお言葉をたくさんいただきました。

左の写真は、中学部3年生の生徒が持って行った「皇太子（現天皇陛下）時代の桜」の写真に両陛下が興味をもたれた一幕です。生徒が説明差し上げた言葉を、皇后さまが王妃様に英語で伝えてくださいました。マチルド王妃も親しみやすいお人柄で、現地での素晴らしい人気を肌で感じる事ができました。

ベルギーで両陛下にお目にかかる機会はこれが最後かもしれませんが、フィリップ国王にはまたお会いできるチャンスがあるかもしれません。中学部の生徒が多く出演する「オメガング」にも、ご臨席なさるでしょうか。今から楽しみです。

次のページに交流行事の様子を載せます。少しでも会場の雰囲気が伝われば幸いです。

